

気候変動マネジメントシステム調査で業種トップの評価

NKS Jホールディングスは2010年9月、SRI（社会責任投資）のための調査会社である株式会社インテグレックス（以下、インテグレックス社）が実施する、「第2回気候変動への取り組みに関する企業のマネジメントシステム調査」（以下、「気候変動MS調査」）において、「情報通信・金融」の業種（98社）中、1位の評価となりました。

NKS Jグループは、今後も気候変動への積極的な取り組み等、持続可能な未来に向けて、新しい社会的価値を提供することにより、お客さまに選ばれる企業を目指します。

<気候変動MS調査について>

気候変動MS調査は、気候変動への対応に関する各企業のマネジメント体制を調査し、SRIファンドや年金運用において、気候変動への取り組みを重視した長期の投資を誘発することにより、企業の持続的成長と、持続可能な社会の実現を目指すことを目的としています。本調査の評価データは、気候変動対応ファンド等の設定・運用を目的として、投資信託運用会社や年金運用会社等に提供されます。

第2回の調査は、インテグレックス社が全上場企業を対象に実施した「企業の誠実さ・透明性（倫理性・社会性）調査」におけるランキング企業615社を対象に実施されました。

本調査の評価ポイントは次のとおりです。

- ①気候変動への取り組みを通じた、持続可能な社会の実現のための経営トップのコミットメントは十分か。（リーダーシップ）
- ②気候変動への取り組みに関する、企業としての長期的な方針が策定され、十分な開示が行われているか。（コミュニケーション）
- ③気候変動への取り組みを推進するための社内体制は構築されているか。（マネジメントシステム）
- ④具体的な気候変動への取り組みについて。（サステナビリティ）

※気候変動MS調査の詳細はインテグレックス社ウェブサイトを参照ください。

<http://www.integrex.jp/sri/ms.html>

以 上